



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリー・C.K.ホアン
2014-2015 年度 魚津RC会長 平崎 暉夫

2939回例会
2014.10.17
ホテル
サンルート魚津

公的年金

長生きすれば 元は取れる！

卓話で説明会 魚津事務所

柳澤副所長・坂井氏



公的年金について説明する坂井氏(上)と柳澤副所長(左)



2939回例会は17日、ホテルサンルート魚津で開き、魚津年金事務所の柳澤宏昭副所長と同事務所の坂井実朗氏が「年金制度説明会」のタイトルで卓話しました。両氏は、公的年金の優位性などを説明。クイズを交えながら年金の基本的な知識についても会員に問い掛け、「年金は長生きすれば元は取れます」と強調、徴収と給付の関係について分かりやすく話されました。

要旨 日本年金機構は平成22年1月にスタートし5年目を迎えている。この間最大の課題だった「年金記録問題」にも集中的に取り組んできた。4月にスタートした第2期中期計画でも年金記録問題には的確に取り組んでいきたい。魚津市の年金受給総額は約211億円で市の一般会計173億円を上回る。少子高齢化で年金受給者、額とも増加する一方だ。

50年後の物価を予測することは困難だ。老後に備えてお金をためていても、50年前なら1万円が200杯食べられたうどんも現在は16杯しか食べられない。金利で物価上昇分をカバーするのは難しい。しかし、公的年金は違う。物価が上がれば年金額も上がり、インフレにも対応できる。年金には生活補償の役割以外に障害年金、遺族年金の役割もある。例えば20歳から64歳までに交通事故に遭う確率は53%、死亡率は0.7%だと言われる。公的年金は貯蓄ではなく、保険であるということとを理解してほしい。

サラリーマンの40年間の保険料負担を1930万円と仮定する。何年で元が取れるか。65歳からもらえる年金は年間約203万円となる。9年半で元が取れる。75歳を前に収めた分を受け取ることができ



2610地区大会 特別表彰受賞を伝達

～長寿ロータリアン～

根岸 朗さん 杉野芳宏さん

祝

長寿ロータリアンとしてこのほど特別表彰された根岸朗さん、杉野芳宏さんへの受賞伝達が17日の例会で行われました。平崎会長から記念のガラス製ペーパーウエイトを受け取った両氏はこれからも健康で頑張ると益々盛んでした。



妻は73歳になる。先月は山梨県の鳳凰三山（地蔵岳2,764m、観音岳2,841m、薬師岳2,780m）へ登った。すごい石の山でその中にダケカンバなどが色づいていた。自然の庭です。先週は妻を労うため、北海道へ行きトワイライトエクスプレスで戻った。体調の続く限り今後も頑張りたい。

Happy Birthday

妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。実は孫が来ていて、畑仕事が出来ないせいか、ちょっと肌が白くなったような、指がしなやかになったような気がします。恥ずかしくて面と向かって言えそうにないのですが、いただいた花を持って「ありがとう」と言いたいと思います。



葬儀に多数参列いただき、この場を借りてお礼を申し上げたい。誕生日の旅行などを計画していたがかなわず、ささやかな食事をした。葬儀では妻の力をあらためて感じた。これからも仲良くしていきたい。

63歳になります。みなさん奥さん孝行をしておられ羨ましく思います。私は連れ添って40年近くになるのですが、一つもしていません。先輩方を見習って奥さん孝行していきたいと思います。



自分以外はみんな先生—というタイトルではあるのですが、広報担当者が自らのことを少々書かせていただきたく、お許し願います。

というのも、先ごろの例会の会長あいさつは「『新聞週間』につき、報道機関は公正な報道に努めよ」との指摘で、あらためて襟を正さねばという思いになったからです。

新聞には二つの側面があると言われる。一つは報道機関としての面、もう一つは言論機関としての面です。報道機関として大切なのはニュースの速報性や詳報さかと思えます。言論機関としては、世論を喚起したり、問題提起するための切り口や見識が問われると認識しています。

それぞれの面で「公正さ」はしっかり担保されねばなりません。そのための第一歩は、客観

的で正しい事実認識によるところが大きいと思います。



誰がどこから見ても「うちわ」なのに「資料」と紹介したり、「カレンダー」を「室内用ポスター」として言い張るようでは、信頼を損ねます。報道機関として「曇りのない眼」を心がけなければなりません。

「いまさら」ということを縷々書いてしまいましたが、新聞制作の現場は、誤字脱字の排除から、ニュースの価値判断、紙面への割り付けに至るまで、時間の制約の中で戦う毎日です。記者や編集者の経験・蓄積そのものが新聞（社）の財産という

面もあります。

日本新聞協会による調査報告では「社会に対する影響力がある」メディアの筆頭は新聞で45.4%、次いでNHKの43.9%、民放の36.4%（複数回答）などでした。

また、「知的である」「視野を広げてくれる」「教養を高めるのに役立つ」「詳しい」「仕事に役立つ」などでトップの高い評価を得る一方、「情報が速い」「安心できる」「話のネタになる」「親しみやすい」ではテレビに負け、「情報が正確」や「信頼性がある」ではNHKに一歩譲っています。

こうした結果を真摯に受け止め、生活に欠かせないメディアになるよう精進したいと思います。



(松井)

Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column

魅力あふれる卓球

秋晴れの続くスポーツシーズンですが、会員のみなさんはやはりゴルフを楽しまれる方が多いかと思えます。

病棟からの帰還

私は、ボールの大きさは同じぐらいでも重さが全く違う卓球を楽しんでいます。以前、卓話でも話させてもらったことありますが、私は15年前に心筋梗塞で倒れ、2カ月半ほど入院していたことがありました。

退院後、担当医より動かさずにいるのではなく、長期間続けられるスポーツを始めなさいと言われました。中学時代は卓球部、東京で社会人だった頃は、社内の卓球同好会でやっていた卓球を20年ぶりに始めました。

当時は社会保険センターで毎週土曜日に卓球教室があり、先生もおられたので参加し、はや15年ほど続けています。

英国上流階級の生まれ

卓球は卓球台の上でボールを打ち合う競技で、1ゲーム11点先取したほうが勝ちなのですが、10対10の場合には2点入れたほうが勝ちとなります。1880年代にイングランドの上流階級の人たちによって生み出されたスポーツです。

テーブルテニスと言われてるように雨の日でも手軽に楽しめるテニスのようなスポーツです。1902年に日本に渡り、1988年からオリンピックの正式種目にも認定されています。

瞬時の判断 脳トレにも

卓球の魅力は老若男女だれでも簡単に楽しめること、ルール

が分かりやすいところも魅力です。最近は大きめのボールで空気が抵抗が大きく、ラリーの続くラージボールも人気で、年齢層の高い方も多く楽しんでおられるようです。

卓球をしていると目や指をよく動かすうえに複数の情報を瞬時に処理するトレーニングも自然にできるので、高齢者のボケ防止や子どもの脳の良好な発育にも役立つそうです。

スポーツとしても、脳トレとしても楽しめる卓球は魅力の多いスポーツの一つです。

是非、みなさんも卓球してみませんか。

(辻英晴)





常に備えよ

年末のことをチラチラ思う季節になりました。歓迎できませんが、凶悪犯罪の発生しやすい季節でもあります。というわけで、金融機関を狙った強盗の防犯訓練が20日、北銀魚津支店でありました。

上の写真はモデルガンで行員を脅し、金を奪って逃走した犯人の特徴を警察官に説明する場面。

左の写真は、特殊詐欺、いわゆる振り込め詐欺の被害を食い止めようということ、お客さんへの声掛けを試みる訓練です。

人ごとと思わず、防犯意識をしっかり持ちましょう。

銀行強盗の特徴を説明する行員（写真上）と振り込め詐欺防止に向けた対応訓練（写真左）



《案内》

▼ニユース・時事能力検定 日本ニユース時事能力検定協会。11月23日（日）、富山市など全国で開催。5級（小学校）～1級（大学生・一般）まで。政治・経済・社会・暮らし・環境などから出題。申し込み締め切りは10月24日（金）。北日本新聞新川支社などに申込用紙。

▼いくじ 灯台まつり 11月1日（土）10時～21時。黒部市の生地鼻灯台を一般開放する。吉田科学館と連携したスターウオッチングもある。高さ30メートルの灯台の階段を昇った人は証明のスタンプをパンフレットに押しもらえる。姉妹都市根室のサンマフライも限定300色提供される。また、魚の駅「生地」周辺では街歩きや漁船のミニ遊覧もある。ミニ遊覧は1航海20人で4航海を予定。約30分のクルーズ。

《ニユボックス》

▼NCEU旗争奪少年野球大会で孫が所属する「ベースボールチーム道下」が優勝しました。川岸

▼今月も元気に頑張りましょう。平崎

《今後の例会》

▼10月31日 卓話 杉野芳宏さん

《出席報告》

▼2939回 32人

▼メイクアップ 91・17%

▼2937回
メイクアップ なし
出席率 82・35%

▼メイクアップ 愛宕、山澤、稲盛